

みち

最後の大きな山を前にして

一年間の思い出のかけらを…

今年一年を振り返るとあっという間でした。短く感じるこの一年間でしたが、様々な行事があり、この六つの大きな山を見事に登り次へと歩を進めてきました。一年間登ってきた山のほんの一部分ですが、振り返ってみましょう。

修学旅行

2年生から取り組んできた行事です。班別自主研修のために緊張して電話をかけたり、路線図をもとに行程を考えたりしました。自分たちだけで電車を乗り継いで訪問活動することは、不安と緊張でいっぱいだったと思いますがほとんど遅れる班もなく、無事に活動することができました。ディズニーランドではご飯を食べるのを忘れるほど、夢中になりました。お土産とお土産話がいっぱいでした。

最初、2年生の時からポイントがマイナスになり、いったいどうなることかと思いましたが、みんなで協力してポイントを復活させました。さらに当日しっかり活動できたことで、羽田での買い物というご褒美もゲットしました。やればできるというみんなの力を発揮した行事でした。



総合体育大会, コンクール

1年生から頑張ってきた部活動の集大成です。各々が大会に向けて心を一つに練習し、その成果を発揮しました。次への切符を手にした人、残念ながら活動に区切りを付けた人様々でしたが、頑張ることの大切さ、そして仲間の大切さを実感したことと思います。全県を制覇し、全国大会に歩を進めた人がいたことは私たちの誇りにもなりました。



体育祭

7月の休日開催となり、これまでとはちょっと違った趣の体育祭となりました。長縄跳びやリレー、ニューソーランなど学級で練習を重ねました。最初はなかなかうまくいかず、焦ることもありました。でも最後はやはり3年生！どの種目でも一生懸命競技しました。100m走では、温かい声援をもらいながら職員も走りました。

ニューソーランでは、学年の踊り、全校の踊りどちらも圧巻でした。グラウンドに全校生徒が広がってのソーランは、見ている人を感動させました。

もう一つ頑張ったのが応援です。走っているクラスメートを応援するのはもちろんのこと、一生懸命競技する後輩にも、声を合わせて応援する姿が見られました。

結果に関係なく、学級が力を合わせ、心を一つにした行事でした。



南中祭

最後の南中祭，最後の合唱コンクール…この言葉がみんなの心の中にありました。そのせいか夏休みからの取り組みには今まで以上の熱意が感じられました。各部門で後輩をリードして活動する姿が見られました。また，学級新聞やクラスアートでは各学級のメンバーが夏休み中から何度も登校し，作品を仕上げていました。当日も，それぞれの持ち場で活躍していました。職員室前でYシャツにシロップを付けながらもかき氷を一生懸命販売したり，的当てで小学生を楽しませたり，部活動の作品や活動を紹介したり，…。挙げるときりがなくいろいろな場所で活躍していました。展示やイベントだけでなく，ステージでも，エンターテインメントなどでそれぞれが個性を發揮しました。

そして合唱コンクール。学級がなかなかまとまらず，ハーモニーができなくて悩んだ時期もありましたが，当日にあわせて各学級ともしっかり仕上げてきました。円陣を組んでいるときの真剣な表情には，気持ちを一つにして最高の歌を歌い上げようとする気持ちがみなぎっていました。

くす玉も見事割れ，大成功の南中祭でした。



天南GP

最初は1年の大きな山は六つだったのですが，年度途中にさらに大きな山が一つ加わりました。2年生の時から取り組んできたニューソーラン，それに全校合唱を加えての天南GP発表会です。

全校合唱は大地讃頌です。初めて全校で合唱するということで，なかなか声が出なかつたりもしましたが，練習を重ね，夏目先生の指導も受けて仕上げることができました。踊りは，オリジナル部分を充実させ，天南独自の「天南ソーラン」にパワーアップしました。最初はばらばらで動きもあわなかったのですが，当日が近付くにつれて本気モードのスイッチが入り，パワフルな踊りになりました。

当日の発表会は総合体育館がいっぱいになるくらいのお客さんでした。その中で発表するみんなの表情をみると，緊張はしているものの自分たちで楽しんで歌い，踊っているという笑顔もあふれていました。「やりきった」という感覚を共有できた行事でした。



進路決定・入試

中学校を卒業する学年として避けては通れない大きな山です。悩みました。家で，学校で何度も話し合いました。その中で選んだ進路希望の実現に向けて，努力を重ねてきました。自分と戦わなければならないこの大きな山を登ることはこれまで以上に苦しいものだったと思います。でも，それを支えてきてくれたのは，家族であり，仲間でした。時間を惜しんで休み時間や給食準備の時間に問題を解く姿やうまくいかない面接のためお互いで練習する姿があちこちで見られました。挫折を経験しても家族や仲間の励ましで，また前を向いて進むことができました。苦しかったけれど，自分を大きく成長させることができた貴重な経験となったことでしょう。

そして今日，最後の大きな山である卒業式を迎えました。これまでの大きな山，そして日々遭遇してきたであろう壁を乗り越えて成長してきた3年生は，見事登りきってくれることを期待しています。これまで支えてきてくれた友達や家族への感謝の気持ちを込めて…。